

神奈川県最低賃金審議会 会長 赤羽 淳 様
神奈川県労働局 局長 児屋野 文男 様

意見書

私たちは、港湾・運輸・商品流通部門に働く労働者を組織している労働組合であり、働きやすい職場、将来も安心して働ける職場にしていきたいという強い願いを実現していくために日夜奮闘しています。

港湾労組が参加する産別連合体である全国港湾が2024年に行ったアンケートによると、5,623名の回答者のうち、年収400万円以下であると回答した港湾労働者が26%と4分の1を上回りました。現在の年収に不満を持つ労働者は60%で、今後の港湾での課題について37%が人手不足と回答し、その打開策として「労働条件の改善」「労働環境の改善」「初任給の引き上げ」の3つの回答を合わせると全体の7割を超えています。言い換えれば低賃金で劣悪な労働環境が、港湾に労働者が集まらない要因であると考えている労働者が多くいることを示しています。

25春闘において全国港湾は5回にわたるストライキを行い、数多くの労働者の要求を掲げて闘いぬきました。その柱の一つに港湾最低賃金の回答を求めるものがあります。日本港運協会は2015年春闘での合意を最後に産別最低賃金の回答を避けており、現在も労使で協議が続いている状況です。合意に至る際には当然、現在の最低賃金が影響を与えることとなり、全国一律の産別協定に基づく合意となるため、首都圏の最低賃金が目安となります。港湾労働者の処遇改善、人手不足解消のためにも最低賃金の全国一律かつ大幅な引き上げを要望し、以下について意見を述べたいと思います。

— 記 —

1. 神奈川県最低賃金時間額を「今すぐ時間額1500円以上」にしてください。
2. 産別最賃制度の引き上げを後押しする意味でも最低賃金の大幅引き上げをお願いします。
3. 現在、地方と都市部における賃金の格差は深刻な問題となっており、港湾荷役料金にも地方港と6大港で格差が生じています。地方ごとの最賃額の是正や、全国一律最低賃金制度について議論していただき、関係機関に意見を具申してください。
4. 賃金上昇分の価格転嫁の実現をはかる施策の実行や、社会保険料の軽減など中小企業支援策の抜本的強化の実施について、国や関係機関に意見を具申してください。



2025年7月16日

港湾労働組合
執行委員長 三宅 洋